

臭気対策内容(通運事業者編)

1. コンテナ使用者責任を全うする

1-1. クリーン使用の実践(日通事例)

コンテナのクリーン使用について、日本通運が実施中。

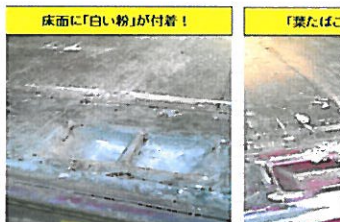
コンテナのクリーン使用について

JRコンテナは、日本通運も全国通運も全ての事業者が共同で利用しています。「食品貨物」も「精密機械」も「化学品」も「工業品」も同じコンテナで輸送されています。

コンテナが汚れるのは何故でしょうか？

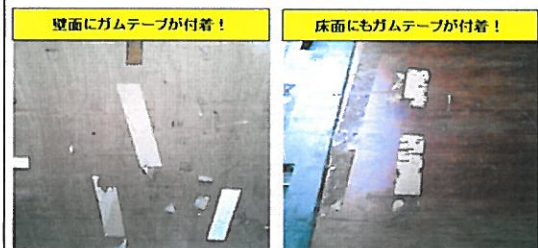
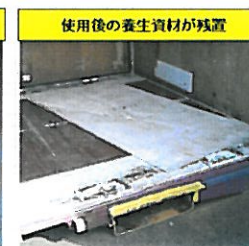
通運事業者の使用方法や使用後の清掃不徹底に問題があるからです。

「汚損事故や臭気感染事故予防のために」
「次回使用するドライバーのため」「自分のために」みんなで汚さないように、綺麗に使いましょう！



コンテナに落書きしない。

養生資材も大切な資源です無駄にせず、発駅に返送するなどルールを守りましょう！



ガムテープは汚「なるべく使わぬ」場合は剥がしやう」「使ったらみんなで心がけ

○コンテナは「共同利用」していることを念頭におき、コンテナを丁寧に使用し、使用後は必ず清掃します！

○プロのドライバー意識と日本通運グループとしての誇りと自覚を持って、自らが率先して行動します！

臭気対策内容(通運事業者編)

1-2. 「30・30運動」の実践(日通事例)

臭気確認に重点を置いたコンテナ使用前点検を展開中。
コンテナ扉を30cm(ちょっと)開けて、30秒間コンテナ内部のにおいを嗅ぎます。

「30・30運動」の完全励行!

①事前準備

臭気確認を行う前に
まず自身の嗅覚をリセット
します。

※嗅覚は「慣れ」が発生しやすい感覚なので、リセット(正常な状態に戻す)することが大切です



自分の臭いを嗅いで、嗅覚をリセットします。
自身の衣類やハンカチなどを鼻にあてて、鼻から大きく息を吸い込みます。

②30CM

においは拡散しやすいので、**30CM**(ちょっと)だけ扉を開けてコンテナから溢れ出すにおいを嗅ぎます。

※におい物質は質量によって、浮遊しやすいものと下にこもるものがあるため、高さを変えて嗅ぐことが大切です



低い位置で嗅ぎます

高い位

③30秒

30秒間、コンテナ内部のにおいを嗅ぎます。

※特に内張り板やゴムパッキン部分もしっかりと嗅ぎます



・においの元となる「ゴミやちり」「前荷の残留物」「壁面等のガムテープ(※**廃用の白テープは除く**)」などは必ず除去します。

・床面や壁面に「油染み」などが無いかチェックします

少しでも異臭を感じたコンテナは絶対に使用しません!

- ・私達は「食の安全・安心」を守る使命があります
- ・においは内張り板等に潜っていて、
輸送中温度上昇とともに復活してきます